

学位論文審査結果の要旨

博士課程 ④・乙	第415号	氏名	岩切太幹志
審査委員		主査氏名	中村都英
		副査氏名	岸口 胡
		副査氏名	岸周 寛章
[論文題名]			
頸動脈および腎血管系の動脈硬化性変化と全身動脈硬化との関連性:剖検症例による検討(一編二冊)			
1. Usefulness of carotid intima-media thickness measurement as an indicator of generalized atherosclerosis: Findings from autopsy analysis (Atherosclerosis, 225(2):359-362, 2012)			
2. Association between renal vasculature changes and generalized atherosclerosis: An autopsy survey (Journal of Atherosclerosis and Thrombosis, in press)			
[要旨]			
<p>動脈硬化は全身の動脈で進行するが、その程度は血管の種類や部位によって様々である。超音波検査による頸動脈内中膜肥厚(CCT-IMT)の計測は動脈硬化性疾患のリスク評価として確立されたものであるが、CCT-IMTと全身主要動脈硬化を病理学的に検討した報告はない。第一編の研究は、剖検症例を用いてCCT-IMTが冠動脈、脳血管、胸・腹部大動脈および腸骨動脈の動脈硬化の指標である内膜/中膜比と有意な正の相関を示すことを明らかにし、全身の動脈硬化を反映する優れた指標であることを示した。第二編は剖検症例を用いた心腎関連に関係した研究であり、腎血管系と全身主要動脈の硬化度の関連性を検討したものである。腎血管系の動脈硬化も全身主要動脈の動脈硬化と関連し、剖検症例の背景因子を加えた多変量解析を行い、糸球体硬化と冠動脈内膜/中膜比、腎動脈および腎細小動脈と脳血管の進行病変が有意な相関を認めること明らかにし、組織学的にも腎血管系の動脈硬化が心血管系と関連することを示した。</p>			